

積み重ね つみ重ねても またつみかさね

令和4年11月1日 No. 34 文責：佐野紳二

SDGsについて考えてみましょう⑥ 「勇気をもって」やってみよう（とりあえず最終回）

前号（No.33）に続いて、SDGsの17の目標を達成するために私たちができることについて一緒に考えてみたいと思います。第3回目のキーワードは「一步を踏み出す」です。「私だけがこんなことしたって…」と思わずに、まずは自分にできることを、勇気をもって取り組んでいくことで必ず未来は変わるはずですよ。

今回の参考文献 わたしもできる！世界とつながるSDGsアクション ③「勇気をもって」やってみよう

著者：原琴乃 出版社：汐文社

慈善活動に参加してみよう（1 貧困をなくそう 17 パートナーシップで目標を達成しよう）

世界でおよそ6人に1人の子どもが1日220円以下で1日を暮さなければならない「極度にまぶしい」状態にいます。衣服や食べ物がないだけでなく、「安全な水が飲めない」「電気を使えない」「教育や医療が受けられない」など、たくさんの困ったことがある状態です。こうした子どもたちを助ける活動として「集めるボランティア」があります。例えば、ペットボトルのキャップを2kg集めると、子ども一人分のワクチンになります。さまざまな商品の中には、売り上げの一部が寄付される商品もあります。



いじめをしない・させない（10 人や国の不平等をなくそう 16 平和と公正をすべての人に）



性別や年齢のちがひ、身体的なちがひ（肌の色など）、人種や宗教のちがひによる暴力やいじめは世界中のさまざまな場所で起こっています。子どもたちの3人に1人以上がいじめられた経験がある一方で、先進国の11歳から15歳の10人に3人が他の生徒をいじめたことを認めているそうです。（データに日本は含まれない）こうしたいじめは、やがて差別や争いにつながっていくことが多いようです。ぜひ、みなさんの力でいじめや差別のない未来をつくっていきましょう。

男女の「決めつけ」をしない（5 ジェンダー平等を実現しよう 10 人や国の不平等をなくそう）

「男のくせに」「女のくせに」なんていう言葉を聞いたことがありませんか？本当は、男女に関わらず全ての人々が平等な権利をもっているはずなのですが、こうした「性別による不平等」は世界中のいろいろなところで見られます。日本では昔、女の人々は選挙に参加できませんでした。今でも、女性というだけで教育を受けられない国や、男性と女性というちがひだけで給料が違う国もあります。性別に関係なく、自分がやりたいことをのびのびとやることができる世界が実現するとういいますね。



平和を学んで、守ろう（1 貧困をなくそう 16 平和と公正をすべての人に）



2022年2月25日の午前1時34分、ロシア軍が24日にウクライナの軍事施設に対する攻撃を始めたと発表し、ロシアとウクライナの戦争がはじまってしまいました。戦争をする人（国）にはそれぞれの正義があり、戦争をする理由があると考えているのだらうと思いますが、戦争で犠牲になるのは兵士だけでなく、多くは子どもやお年寄り、女性など立場の弱い人であることも事実です。戦争のない、平和な世の中をつくっていくために私たちにできることはないか、考えてみる必要があるように思います。

みんなでルールをつくって、守ろう（10 人や国の不平等をなくそう 16 平和と公正をすべての人に）

すべての人がお互いの自由や権利を大切にしながら、ともに生きていくためには、公正なルールをつくり、みんなでそれを守っていくことがとても大切です。ところが、一部の力のある人が自分のことだけを考え、都合のよいルールをつくっている国や地域が世界にはまだまだたくさんあり、多くの弱者（特に子どもたち）が苦しめられています。お金で売り買いされたり、働かされたりしている子どもは決して少なくありません。だれもが安心して暮らせる世の中をつくるため、どんなルールが必要か、みんなで考えてみましょう。



「わたし」にできるSDGsをやってみよう！

SDGsについてたくさんの紙面を使って書かせていただきました。結局、何を伝えなかったかということと「私たちの未来は私たちの手で創り上げていく」ということと、「そのためにできることがきっとある。今からすぐに取り組んでみよう」ということです。

SDGsで採り上げられている環境の問題や飢餓・貧困などの問題は、私たち人類が今すぐにでも取り組みを始め、解決を目指さなければいけないことだと感じています。最近、ニュースの中で「SDGsだと思ってやっているエコバッグや紙ストローは、本当にSDGsなのか」なんていうことも言われていましたが、まずは一人一人が「自分ができそうなこと」から始めてみるのが大切なのではないかと思っています。

最近、私たちに比較的身近な山日YBSでも、「わたしのSDGs宣言」を募集し、山梨日日新聞紙面やホームページに掲載しています。ぜひ、みなさんも自分にできることを考え、「わたしはこんなSDGsに取り組むよ！」というSDGs宣言をしてみませんか？みんなのSDGs宣言、校長にも教えてください。

SDGs宣言の例

- ・残さず食べます♪
- ・川や海にごみを捨てない。
- ・ものを大切に使い、むだづかいをしないようにする。
- ・たくさん本を読んで、いろいろなことを知る。
- ・マイはしを持ち歩いて割りばしを使わない。
- ・使っていない部屋の電気はOFF
- ・なるべく公共交通機関を利用する！
- ・ひとつのものをだいじにする。
- ・おでかけはすいとうもわすれずに！

わたしのSDGs宣言